

# はこだてシルバーだより

阿久津貞夫会員  
「リンゴの花に  
小さな訪問者」



林 英男会員  
「おつし」



佐々木紀代彦会員  
「お堀の鏡」



佐々木紀代彦会員  
「桜の花」



柴田 武志会員  
「アオサギ」



平成 27 年 6 月号



夏号 No.103

● “手” が足りない。そんな時はシルバー人材センターへ！

シルバー人材センターの親切・丁寧・確実な仕事振りは必ず皆様のお役に立ちます。

豊かな経験と能力を生かし、幅広いお仕事を致します！

函館市若松町33番6号（函館市総合福祉センター 2階）

電話（0138）26-3555

FAX（0138）23-7531

E-mail : hakosc@sjc.ne.jp





# 平成二十七年 定時総会

平成二十七年年度の定時総会が五月二十九日(金)午後一時三十分より函館市芸術ホールを会場に開催され、総合司会は武井哉子事務員によって進められました。

渡部理事長から「全国的には経済状況は回復に向かっているものの地域においてはまだまだ実感出来ない状況がある。今年度は地域に密着した事業を掘り起こし、事業拡大を



挨拶：渡部理事長

図るとともに会員確保対策に会員一丸となって自信と確信をもって頑張ろう」と、力強い挨拶の後、長年にわたり、シルバー人材センター事業の振興発展に功績のあった三十二名の正会員表彰及び二名の職員表彰が行われ屋敷光治さんが受賞者を代表して謝辞を述べました。(三ページに記載)来賓として、工藤壽樹函館市長(代理)、成澤俊也経済部次長) 前田義光函館公共職業安定所長(代理)、村井

材センター連合会より祝電をいただきました。また、北海道シルバー人材センター



成澤経済部次長

則幸職業相談部長)のお二人から受賞者へのお祝いと『シルバー人材センターの日頃の活動に敬意を示されシルバー事業の発展と会員の活躍に期待したい』とのご祝辞を賜りました。



村井職業相談部長

総会は正会員の齊藤紘一さんが議長に選出され進められ、阿部事務局長より正会員九百七十七名特別会員二名(五月二十九日現在)中、本日の出席会員二百四名、委任状提出者は六百六十

議長：齊藤紘一



議長：齊藤紘一



議事録署名

一名、計八百六十五名で定款第十七条による正会員総数の過半数を越えているとの報告があり総会は成立、議事録署名人に議長その他、渡部理事長、理事の三由勝光さんと白井美枝子さんが議長より指名され議案の審議に入りました。



議長、理事、副議長

以上の議案について坪谷常務理事より提案説明の後、前田正美監事から監査報告がなされ、異議無く承認されました。続いて議案第四号、役員選任については、まず事務局長により理事・監事選任選考委員会の選考経過、結果について説明があり、理事十五名、監事二名の候補者が提案された後、それぞれ承認されました。そして事務局長より新役員の紹介の後、退任する坪谷常務理事、山本信義理事、佐々木久美子理事、屋敷光治理事、木川英雄理事、前田正美監事から挨拶がありました。



監査報告：前田監事

- ◎総会に提案された報告・議事
  - ▼報告第一号 平成二十七年事業計画(案)
  - ▼報告第二号 平成二十七年収支予算(案)
  - ▼報告第三号 平成二十七年特別会計収支予算(案)
- 以上について阿部事務局長より報告提案され、異議無く承認されました。次に議事に入り
- ▼議案第一号 平成二十六年事業報告(案)
  - ▼議案第二号 平成二十六年収支決算(案)
  - ▼議案第三号 平成二十六年特別会計収支決算(案)

こうして齊藤議長の適切な議事運営により全議案が提案通り承認、可決され総会を閉会いたしました。総会に参加をされました皆様ご苦勞様でした。





# 皆さん、おめでとうございます！

長年にわたり、シルバー人材センター事業の振興発展にご功績のあった正会員三十二名と勤続十年職員二名に対して理事長より表彰状及び記念品が贈呈され、受賞者が代表して屋敷光治さんより謝辞がありました。

年齢を重ねてなお、ますます元気で真摯に就業に取り組む会員さんの姿には、事務局職員一同頭が下がる思いです。

今後とも健康に十分留意され、今まで以上に当センターの発展に貢献していただきたいと思います。

また、今年度は二名の職員が勤続十年を迎えましたが、これからも皆さんに支えられながら頑張つてほしいと願っております。

受賞された皆さん、本当におめでとうございます。

## 正会員表彰

- 片山 千鶴子さん(家庭内清掃)
- 釜谷 多紀雄さん(各種講師)
- 高野 光利さん(除草)
- 屋敷 光治さん(施設管理)
- 三由 勝光さん(学校管理)



- 中山 正春さん(学校管理)
- 市橋 利満さん(除草)
- 土井 易雄さん(施設管理)
- 渡辺 達男さん(屋内雑役)
- 木村 カヨ子さん(除草)
- 林 政侑さん(植木剪定)
- 庭田 等さん(道路清掃)
- 高橋 清子さん(封入封緘)
- 飯田 賢さん(屋内雑役)

- 戸澤 光さん(屋外清掃)
- 中林 俊夫さん(公園清掃)
- 石井 勝さん(屋外雑役)
- 山内 弘さん(屋内清掃)
- 名越 暢子さん(家事手伝い)
- 倉谷 達夫さん(公園清掃)
- 野田 松枝さん(家庭内清掃)
- 渡邊 耕司さん(学校管理)
- 斉藤 典光さん(機械除草)
- 中田 俊一さん(学校管理)
- 森田 喜昌さん(屋外清掃)
- 木村 梨木重顕さん(学校管理)

## 職員表彰

- 桑原 一旗
- 川守田 雅子

- 山田 貞雄さん(公園清掃)
- 細川 修二さん(公園清掃)
- 大野 康次郎さん(屋外施設管理)
- 青柳 正孝さん(道路清掃)
- 平田 公子さん(公園清掃)
- 平田 公子さん(屋内清掃)

## 謝辞

受賞者を代表いたしましたして、お礼のご挨拶を申し上げます。このたびの受賞にあたりましては、誠に光栄に存じますとともに、身のひきしまる思いでございます。

この受賞は、多くの会員をはじめ役員皆様方のご指導とご協力のおかげであり深く感謝いたしております。

今後ともこの賞に恥じることのないようシルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、誠心誠意努力する所存でございます。

公益社団法人函館市シルバー人材センターのますますのご発展をご祈念申し上げます。お礼の言葉といたします。



平成二十七年五月二十九日  
受賞者代表 屋敷 光治



## 新役員の紹介

五月二十九日の定時総会において新役員が次のとおり決まりました。二年間よろしくお願ひします。



理事長 渡部 正一郎  
副理事長 中田 俊一  
常務理事 阿部 喜久雄  
理事 三由 勝光  
理事 白井 美枝子  
理事 相田 紘司  
理事 遠藤 充雄  
理事 西村 孝仁  
理事 山本 勝太郎  
理事 吉田 那美恵



理事 栄田 武志  
理事 阿部 光輝  
理事 竹内 鉄平  
理事 小野寺 敏子  
理事 坂下 稔  
監事 伊藤 政子  
監事 大宮 豊彦

## 退任理事のお知らせ

次の方々は、五月二十九日をもって役員を退任いたしました。長い間シルバー事業にご尽力いただき誠にありがとうございました。

坪谷 正一さん  
山本 信義さん  
加藤 一さん  
木川 英雄さん  
屋敷 光治さん  
佐々木 久美子さん  
前田 正美さん

今後とも、当センター会員としてよろしくお願ひいたします。

## 新常務理事を迎え

更なる発展を!

五月二十九日開催の定時総会で、坪谷常務理事の後任として、阿部喜久雄氏が理事として選任され、引き続き開催の理事会で常務理事に選定されました。

新常務理事のもと職員一丸となつて頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

## 常務理事就任挨拶



事務局長 阿部 喜久雄

このたび、坪谷正一氏の後任として、常務理事に就任いたしました。

少子高齢化が加速度的に進展する中で、年金制度の改正や雇用制度の変遷、地域における景気回復の遅れなどにより、当センターの会員数や事業高の確保に厳しさが増しております。

このような中で、当センターがこれまで培ってきた信頼と成果を礎に役員・会員さらには事務局スタッフとともに、関係機関のご支援をいただきながら、更なる発展を目指したいと思います。微力ではありますが、誠心誠意

努力してまいりますので、ご指導、ご支援をよろしくお願ひいたします。

### 平成二十七年 度

### 「第二回理事会」報告

五月二十九日定時総会開催前

#### ★協議事項

- (1) 役員候補者について
- (2) 会員就業規約の一部改正(案)について

以上二件について審議いたしました。

・役員候補者には、理事、監事選任選考委員会の平原委員長の報告を受け、理事十五名、監事二名が承認され、定時総会に提案することが決定しました。

・就業規約の改正については異議なく承認されました。

### 平成二十七年 度

### 「第三回理事会」報告

五月二十九日定時総会終了後

#### ★協議事項

- (1) 理事長、副理事長、常務理事の選任について

定時総会で承認された役員十七名が出席して、次のとおり三役が決定いたしました。

- ・理事長 渡部 正一郎
- ・副理事長 中田 俊一
- ・常務理事 阿部 喜久雄



## 「第七回理事会」報告 二月二十七日開催

### ★報告事項

- (1)平成二十七年年度会員継続調査結果について
- (2)その他・個人情報漏えい保険団体制度について

### ★協議事項

- (1)平成二十六年年度収支補正予算(案)について
- (2)平成二十七年年度収支予算(案)について

以上報告事項二件と協議事項二件を審議し、承認されました。

### ◎主な内容は次のとおりです。

- 会員継続調査は、未提出会員がいるため、現在精査中ですが、四月一日現在、九百名を下回る事が予想されます。

- 収支補正予算(案)については、法人予算の収支相償の性格上、今回、会員確保等のための新聞広告掲載、新聞折込みチラシ配布、市電の中刷り広告、FMいるかのスポット等の広報活動の強化及びサン・リフレ函館の軽体育室設備の充実等を図るための経費を決算見込額ベースで補正予算を編成しました。

- 収支予算(案)は、二十七年新たな補助対象事業となる「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の予算科目を設定しました。

## 「第八回理事会」報告 三月二十七日開催

### ★報告事項

- (1)平成二十六年度事業実績報告(二月末現在)について
- (2)平成二十七年年度会員継続調査結果について
- (3)平成二十七年事務局体制について
- (4)役員賠償責任保険加入について

### ★協議事項

- (1)平成二十六年度補正予算(案)について
- (2)平成二十七年年度収支予算(案)(損益ベース)について
- (3)平成二十七年年度正会員表彰受賞候補者(案)について
- (4)(公社)函館市シルバー人材センター規程の一部改正(案)について

以上報告事項四件と協議事項四件を審議し、承認されました。

### ◎主な内容は次のとおりです。

- 事業実績については、管理業務、除雪等が減少したものの、屋外

- 施設管理業務等が増加し、三億三千二百八万円で、前年度比九十八・四%になりました。

- 会員継続調査の結果は、四月一日現在、正特会員八百八十七名になりました。

- 事務局体制は、四月一日から事務局長には阿部事務局次長が、事務局次長には林事業課長がそれぞれ昇格しました。

- 役員賠償責任保険は、二十七年度も継続加入することになりました。

- 補正予算(案)は、事業費の執行上、決算見込み額で補正予算を編成しました。

- 収支予算(案)については、損益ベースの収支予算は一般会計と特別会計を合算して作成しました。

- 正会員表彰受賞者は、会員三十二名、職員二名、計三十四名を定時総会で表彰します。

## 「第一回理事会」報告 四月二十八日開催

### ★報告事項

- (1)正特会員及び賛助会員の入会について
- (2)事業運営状況報告について

- (3)正副理事長及び常務理事の自己職務執行状況報告について

### ★協議事項

- (1)平成二十六年年度 事業報告、収支決算、特別会計収支決算(各案)、監査報告について
- (5)平成二十七年年度 補正予算、収支予算(各案)、特別会員の承認、役員改選について

以上報告事項三件と協議事項八件を審議し、承認されました。

### ◎主な内容は次のとおりです。

- 四月一日現在の会員数は、継続調査を精査したところ、八百六十六名、賛助会員は五十七団体(二月末現在)です。

- 事業実施状況報告では、平成二十六年年度の事業高は、対前年比九十八・一%の三億五千五百六万円となり、減少要因は、主に除雪や市民体育館建て替えによる業務縮小等によるものです。

- 平成二十六年年度の事業報告、収支決算、特別会計収支決算(各案)については、監事から監査の結果、適正であるとの報告がありました。

- 平成二十七年年度の補正予算、収支予算(各案)については、全て承認されました。



# 安全・適正就業委員会コーナー

## 平成二十六年 度

### 第六回 委員会実施報告

三月四日に開催され、次のとおり報告が行われました。

#### ★平成二十六年 度事故発生状況

三月三日現在で、傷害事故、賠償事故、その他の事故が各六件で計十八件発生しましたが、ここ十年で最少となりました。

主な要因は、賠償事故では、就業途上における交通事故が、前年度の五件が二件に減少しました。

賠償事故では、機械除草の事故が、前年度の六件から三件に半減しました。機械除草班の安全就業に対する地道な取り組みが今回の成果に結びついたといえます。

#### ★平成二十六年 度安全・適正就業推進実施報告

- ①安全・適正就業委員会を六回、予定どおり開催した。
- ②安全標語では、応募七十二作品の中から審査し、入選作品五点を安全就業推進大会において表彰した。
- ③安全就業推進大会は、函館市芸術ホールを会場に百六十六名の参加者を得て盛大に挙行された。

平成二十六年 度  
安全標語最優秀賞

「安全はルール厳守と思いやり 地域に貢献 明るいシルバー」野尻 勉 会員

- ④安全巡回パトロールを、市内九箇所を抜き打ちで四日間実施し、就業実態の把握と事故防止の徹底を図った。
- ⑤安全講習会・技能研修会を九講座開催し、計画どおり終了した。

## 平成二十七年 度

### 第一回 委員会実施報告

四月三十日に開催され、次のとおり協議が行われました。

#### ★安全・適正就業推進計画

平成二十七年 度の就業に係る事故防止に向け、安全意識の高揚を図るため、次の事業を推進し、安全就業の徹底に努めます。

- ①安全・適正就業委員会の開催
- ②安全就業推進大会の開催
- ③安全標語の募集
- ④安全巡回パトロールの実施
- ⑤事故防止の徹底と発生要因の分析
- ⑥安全・適正就業委員会だよりの発行(年二回、夏・冬)
- ⑦新入会員登録説明会における安全就業の徹底(毎月一回実施)
- ⑧各種研修会等における安全指導の実施(随時)

- ⑨事故届出の徹底(事故発生時、速やかに事故発生状況及び被害状況報告書の提出を徹底する。)

### 毒蛾・蜂刺されに注意

市内において、今年も毒蛾の幼虫が確認されており、毒蛾の成虫(蛾)や蜂に近づかないこと。

また、毒蛾の幼虫時も毒毛針をもっており、触れた又は近づいた場合には、露出していた肌を流水でやさしく洗いましょう。

## 平成二十七年 度

### 安全就業推進大会

安全就業強化月間の事業として、本年度で十九回目となる「安全就業推進大会」を開催いたします。

#### ○日時

平成二十七年七月二十二日(水)  
午後一時三十分から

#### ○場所

函館市芸術ホール

#### ○大会内容

- ・安全標語入選作品の表彰
- ・会員事例発表
- ・講演

## シルバー派遣事業

―事業開始から半年―

昨年十二月から開始した、シルバー派遣事業は、五月末現在、四事業所と契約をし、十一名の会員が就業しております。

これまでの請負業務と異なり、発注者から「指揮命令」を受け、発注者から「指揮命令」を受け、作業や従業員との「混在作業」が可能のため、会員の就業拡大につながるから積極的に取り組んでおります。

派遣就業するには、事前に派遣会員登録をする必要があります。条件は、六〇歳以上のシルバー会員であることとなっております。就業条件や賃金など、業務内容により、異なりますので、詳しくは、お問い合わせください。また、新規派遣就業先を開拓するため、ポスターやチラシを作成いたしましたので、事業PRに、ご協力いただける方は、事務局にご連絡ください。

夜間管理や各種業務の補助作業など様々な問い合わせがございますので、対応可能な会員の登録をお待ちしております。



# 会員厚生部会コーナー

## 平成二十七年度の 事業活動決定

### 旅行会 九月下旬

今年度は、登別方面か壮瞥方面へと考えております。仲の良い会員さん同士でゆつくり一泊旅行はいかがですか？

### 会員の集い 十一月下旬

湯の川温泉で昼食をとりながら、恒例のゲームで盛り上がり一年の疲れを癒しましょう。

### 新年懇親会 一月下旬

一年の始まりを仲間とともに楽しみませんか？新年を盛り上げる催しも企画しております。

会員の福利厚生増進と相互の親睦を深めるため、会員厚生部会幹事会では、レクリエーション事業を計画しております。

幹事会を開催するたび、活発な意見が飛び交い、会員の皆さんに少しでも楽しんでもらえるよう協議しています。

しかしながら、最近の会員減少傾向に伴い各行事への参加者も前年度を下回っております。様々なアイデアで多くの方々の賛同を得るような企画を考えておりますので、どうぞ皆さんお誘いあわせの上、行事へ参加いただきますようお願い申し上げます。

また、会員の皆さんのご意見・ご要望も受け付けておりますので、アイデアがございましたら是非、事務局までご連絡願います。なお、旅行会についての詳細は、八月の地域班にて案内いたしますのでよろしくお願いいたします。



謹んでお悔やみ  
申し上げます。

水野 繁さん(七三歳)

12地区8班 3月15日

松川 幹典さん(八二歳)

12地区6班 4月18日

## 今年度のウークル活動

### 銀声会



※定例活動日  
毎月第一・三水曜日  
午後一時～四時  
総会は六月を予定しております。

### リラの会



四月十七日、定期総会を開き八月と一月のダンスパーティー開催が決定しました。  
※定例活動日  
毎月第一・二・三金曜日  
午前十時～十二時

### 筆の会



四月二日、定期総会を開き事業計画その他を決めました。今後の予定は次の通りです。  
・七月～八月 半紙練習  
・九月～十一月 筆耕研修会の復習  
・十二月～一月 年賀はがき・宛名書きの基本  
・二月～三月 自由研究  
※定例活動日  
毎月第一木曜日  
九時三十分～十一時三十分

## あいよる



三月十三日、定期総会を開き活動予定を決めました。  
○今後の大会予定

月・日	開
6・24	恵山 10 始
6・30	すずらの丘 9 30
7・10	新陣川 9 30
7・24	七飯本町 9 30
7・29	砂原 10 00
8・8	上磯運動公園 9 30
8・17	大野八郎沼 9 30
9・5	恵山 10 00
9・15	木古内 10 00
9・29	大中山 9 30
10・19	七飯本町 9 30
10・31	すずらの丘 9 30
11・6	桔梗高台 9 30

※納会は、10月6日～7日の間で一泊二日を予定しています。(場所等は未定)

## 写真同好会



三月二十日、定期総会を開き今年度の活動計画その他を決めました。

※定例活動日  
毎月第三水曜日  
九時三十分～十二時

※なお、白黒の会は現在活動休止中です。



## 事務局長退任にあたって



坪谷 正一

平成二十年四月一日から七年間事務局長として、シルバー事業に携わってまいりましたが、この三月三十一日をもって退任いたしました。

この間、南谷前理事長をはじめ多くの会員、役員皆様のご支援、ご協力をいただき無事職務を遂行できたものと考えており、心から感謝を申し上げます。

特に、平成二十二年七月には、シルバー人材センター創立三十周年記念式典・祝賀会を盛大に開催

### 就業報告書の様式が変わります

発注者様から、会員が就業した際に印鑑を頂いておりました就業報告書の様式が変わります。これはシルバー人材センターは本来委任及び請負契約で仕事を受けるため、従来の就業報告書のように、時間での管理に重点を置くのではなく、完成時に発注者様が就業内容を確認し、その上で問題等がなければ履行確認書に印鑑を頂くという、請負内容に重点を置いた様

できたこと、また、二十四年四月には北海道庁や道シ連のご指導のもと、これまでの社団法人から公益社団法人への移行など大きな事業に関わることができた中で、公共事業の見直しや地域経済の停滞から事業高の減少、更に就任当時千二百余名の会員が、現在千名となるなどセンターにとりまして大変厳しい状況になっておりますが、渡部理事長のリーダーシップのもと役員一丸となって難題解決に向け取り組んでいられるものと確信をしております。

今後は一会員として、センター発展に少しでも寄与できるよう努力することを申し上げ、退任の挨拶といたします。

式に変更となりました。

会員の皆さんには、記入例を別途配布させて頂くほか、随時職員より記入について説明を行いますので、ご確認願います。

なお、今回の変更は黄色い就業報告書のみとなり、他の職種で使用している報告書や現在手元に残っている報告書は引き続き使用できます。ご不明な点がある場合は、事務局までお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

## 会費納入について

継続調査において平成二十七年度も継続された方で、年会費(二千円)をまだ納めていない方は早急に納めてください。

年会費は、仕事の有無にかかわらず、五月末までに納めることになっております。(会費規程第三条)事務局で納入することも可能で、その際手数料はかかりませんのでご利用ください。どうぞよろしくお願いいたします。

### 事務局職員の異動

◎退職 三月三十一日付

海老名 由紀子(事業課事務員)

◎採用 四月一日付

信太 有紀(事務員)

・臨時職員の頃から明るい笑顔と朗らかな対応で当センターを盛り立ててくれた海老名事務員が、三月末で退職し、四月から信太事務員が仲間に加わりました。明るい笑顔と穏やかな人柄で日々頑張っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

### 配分金支払日

五月分	六月十九日(金)
六月分	七月十七日(金)
七月分	八月二十日(木)
八月分	九月十八日(金)

## あとながき

先月、「ブレーキとアクセルを踏み間違えて」スーパーに車が突っ込み、買い物客が犠牲になった事故は、まだ記憶に新しい。▼当センターでも他人事とは思えない自動車事故が二十六年六月六件発生し、増え続けています。誰もが加齢とともに身体的能力が低下し、瞬間的な判断や運転操作は鈍くなります。最近、特に高齢者の交通事故が増加傾向にあり、六十五歳以上の高齢ドライバーが運転操作の誤りによる事故が多いことです。▼運転手の取り巻く周囲の状況は必ず変化します。事故は、知識や理屈とは掛け離れ、実際に起こる現象はまた違うものです。▼事故を未然に防ぐためには、交通ルールは勿論のこと「集中力・判断力・確認力」この三つの力学を身に浸透させ、徹底的に守ることが何よりも大切です。▼事故の誘発によって事業活動収入の減少、利用者からの信頼失墜等を招くことになりません。運転当事者は、この「三つの力学」を確実に励行し、安全運転につなげ、無事故の達成を期待したいものです。(山本)